

第47回 全国高等学校選抜ホッケー大会

開催日時 3 月 28 日 (月) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

〈Aコート〉

第1試合 女子 準々決勝 9:30	岐阜各務野高等学校	4	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	立命館高等学校
第2試合 女子 準々決勝 11:20	天理高等学校	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	3	石動高等学校
第3試合 男子 準々決勝 13:10	横田高等学校	2	$\begin{pmatrix} 1 & - & 3 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	3	沼宮内高等学校
第4試合 男子 準々決勝 15:00	岐阜総合学園高等学校	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$	5	丹生高等学校
〈Bコート〉					
第1試合 女子 準々決勝 9:30	今市高等学校	14	$\begin{pmatrix} 6 & - & 0 \\ 8 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	羽衣学園高等学校
第2試合 女子 準々決勝 11:20	飯能高等学校	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	玄界高等学校
第3試合 男子 準々決勝 13:10	天理高等学校	11	$\begin{pmatrix} 6 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	清水国際高等学校
第4試合 男子 準々決勝 15:00	伊吹高等学校	1	$\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	2	今市高等学校

【各試合の結果・詳細】

Aコート 女子 第1試合

$$\text{岐阜各務野高等学校} \quad 4 \begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 0 \quad \text{立命館高等学校}$$

<得点>

岐阜各務野 : 18分 田中、35分 田中、43分 鈴木、57分 岡田
立命館 :

<戦評>

岐阜各務野高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。9分、各務野がPCを取得するも、立命館高等学校の堅い守備により阻まれる。18分、各務野#7田中がサークル内のこぼれ球をリバースシュートで決めて先制点を挙げる。勢いに乗った各務野は23分、PCを取得するも、立命館#1GK河野の好セーブにより得点には至らない。試合終了間際35分、各務野#7田中が左サイドからのセンタリングをスライディングタッチで合わせ、2-0とし、各務野がリードを広げて前半戦を折り返した。
後半戦が開始。早々に各務野はPCを取得するも立命館DFにより得点には至らない。43分、各務野は相手反則によりPSを取得。#3鈴木が冷静に決めて3-0とする。各務野ペースで試合は進み、57分、各務野はPCから#2岡田の豪快なヒットシュートがGKのスティックをはじいて決まり4-0とする。一点が欲しい立命館は組織的なパスワークで相手陣地に攻め込み、PCを取得するも得点には至らない。そのまま試合は終了し、4-0で各務野が準決勝へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	武部 直美	アンパイア	伊藤 幸子
ジャッジ	梶田 賢二・武藤 崇文		穴井 孟司

Aコート 女子 第2試合

$$\text{天理高等学校} \quad 1 \begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix} \quad 3 \quad \text{石動高等学校}$$

<得点>

天理 : 2分 島谷
石動 : 31分 松、54分 竹島、56分 大門

<戦評>

石動高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々2分、天理高等学校#2島谷がドリブル突破からリバースシュートを決め、先制点を挙げる。勢いに乗った天理は相手陣地に攻め込むも、石動の粘り強いDFにより阻まれる。両チームサークル内まで持ち込み互いにPCを取得するも、得点には至らない。一進一退の攻防が続く中、追い付きたい石動は31分、#5松のヒットシュートが決まり1-1の同点で前半戦を折り返した。
後半戦が開始。早々から両チーム激しい攻防が続く。石動は#7高島を中心に相手陣地に攻め込むも、天理の粘り強いDFにより得点には至らない。54分、石動#8竹島のヒットシュートが決まり2-1とする。勢いに乗った石動は、56分、石動#10大門がこぼれ球を押し込み、3-1とリードを広げる。対する天理は果敢に攻め上がり、61分PCを取得するも、石動の堅いDFに阻まれ得点には至らない。そのまま試合は終了し、3-1で石動が準決勝へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	刈谷 和代	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	重森 誠・北川 友香子		柳田 敏行

Aコート 男子 第3試合

$$\text{横田高等学校} \ 2 \begin{pmatrix} 1 & -3 \\ 1 & -0 \end{pmatrix} \ 3 \ \text{沼宮内高等学校}$$

<得点>

横田 : 18分 佐伯、37分 大塚
沼宮内 : 20分 田村、24分 中花、35分 中花

<戦評>

横田高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。序盤から激しい攻防が続く中、14分、横田はPCを取得するも、沼宮内高等学校の堅いDFにより阻まれる。18分、横田#15佐伯がタッチで合わせ、先制点を挙げる。対する沼宮内は果敢に攻め、20分、#2田村がリバースシュートを決めて同点とする。勢いに乗った沼宮内は24分、PCを取得。#中花がドラッグシュートを決めて2-1とする。35分、沼宮内は再びPCを取得。#5中花がプッシュシュートを決め、3-1とリードを広げて前半戦を折り返した。
後半戦が開始。追い付きたい横田は早々から猛攻撃を仕掛け、37分PCを取得。#9大塚がプッシュシュートを決め、3-2とする。流れを掴んだ横田は、57分、沼宮内の反則によりPSを取得。しかし、沼宮内GK#1民部田のファインセーブにより得点することが出来ない。なおも同点に追い付きたい横田は、猛攻撃を仕掛けるが沼宮内の必死のDFにより得点には至らない。互いにロングボールの打ち合いとなり、そのまま試合は終了し、3-2で沼宮内が準決勝へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	長屋 恭一	アンパイア	細川 祐司
ジャッジ	梶田 賢二・武藤 崇文		児玉 茂樹

Aコート 男子 第4試合

$$\text{岐阜総合学園高等学校} \ 0 \begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -3 \end{pmatrix} \ 5 \ \text{丹生高等学校}$$

<得点>

岐阜総合 :
丹生 : 1分 岡野、24分 爲國、37分 爲國、59分 爲國、64分 青山

<戦評>

丹生高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々、丹生#11岡野がゴール前に流れたボールを押し込み、先制点を挙げる。対する岐阜総合学園高等学校はPCを取得するも、得点には繋がらない。激しい攻防が続く中、岐阜総合はパスワークで崩しにかかるも、丹生の堅いDFによりサークル内に入ることが出来ない。16分、再び岐阜総合はPCを取得。しかし丹生の堅いDFにより阻まれる。反撃に転じた丹生は24分、#10がゴール前に流れてきたボールをタッチで合わせて追加点を挙げる。2-0と丹生がリードしたまま前半戦を折り返した。
後半戦が開始。早々に丹生#10爲國の豪快なヒットシュートが決まり3-0とリードを広げる。一点が欲しい岐阜総合も#6立田を中心に果敢に攻め込むが、得点に繋げることが出来ない。46分、岐阜総合はPCを取得しチャンスを得るが、惜しくもゴールを外れる。試合は丹生のペースで進み、59分、こぼれ球を丹生#10爲國がスイープシュートを決め4-0とする。64分、丹生はPCを取得。#7青山のヒットシュートが決まり、5-0と大きく点差を広げて試合は終了。丹生が準決勝へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	松本 豊成	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	重森 誠・北川 友香子		益田 哲寿

Bコート 女子 第1試合

$$\text{今市高等学校 } 14 \begin{pmatrix} 6 & - & 0 \\ 8 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 羽衣学園高等学校}$$

<得点>

今市 : 2分 村上、5分 村上、10分 狐塚、19分 中澤、22分 吉原、56分 深津、64分 中澤、65分 中澤、68分 狐塚

羽衣 :

<戦評>

羽衣学園高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから今市高等学校が攻め込み、2分#12村上がドリブルで切り込みブッシュシュートを決め先制点を挙げる。その勢いに乗った今市は5分に#12村上が強烈なヒットシュートを決め、立て続けに10分#7狐塚がブッシュシュートを決め3-0と羽衣を突き放す。羽衣は何度も相手陣内に攻め込もうとするも、今市の堅い守備に阻まれ攻めきることができない。その後も今市は19分#11中澤がブッシュシュートを決める。22分今市がPCを取得し#8吉原がタッチシュートを決める。30分には今市#11中澤が華麗なりバースシュートを決め6-0とする。反撃したい羽衣はロングボールで攻めようとするも、得点に結びつけることができないまま前半戦を折り返した。
後半戦が開始。今市は39分#11中澤、43分#1渡辺がブッシュシュートを決める。その後も今市は46分、47分とPCを取得し#3深津が2点連続ブッシュシュートを決め10-0とする。得点が欲しい羽衣は、#2浦田を起点に粘り強い守備からカウンターで相手陣内に攻め込むが、得点には至らない。今市は56分#3深津がシュートを決める。今市は64分、65分、68分と立て続けに#11中澤がシュートを決め14-0で今市が準決勝へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	長屋 恭一	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	遠藤 博行・熊崎 里奈		田邊 伸雄

Bコート 女子 第2試合

$$\text{飯能高等学校 } 1 \begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix} 2 \text{ 玄界高等学校}$$

<得点>

飯能 : 32分 荒田

玄界 : 38分 麻生、48分 黒崎

<戦評>

飯能高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから玄界高等学校が攻め込み、8分、9分と立て続けにPCを取得するも得点には至らない。10分飯能の右からの攻撃でPCを取得するも玄界#1GK稲葉の好セーブにより阻まれる。再び20分に飯能がPCを取得するが得点には結びつかない。玄界は#8赤木を中心に攻めるが飯能の堅い守備に阻まれる。両チーム共に激しい攻防が続く中、飯能は30分にPCを取得し、#9荒田がリバースシュートを決め1-0と飯能がリードし前半戦を折り返した。
後半戦が開始。反撃したい玄界は38分#12麻生がスイープシュートを決め、1-1の同点に追いつく。勢いに乗った玄界は48分#10黒石がブッシュシュートで決め2-1と逆転する。玄界は30分にPCを取得するも飯能#1GK古屋の好セーブにより得点することができない。飯能#10森作がドリブルで果敢に攻め込むも得点には至らず、このまま試合が終了。2-1で玄界が準決勝へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	松本 豊成	アンパイア	土井 美里
ジャッジ	薦木 勝・下島 多美子		福山 秀人

Bコート 男子 第3試合

$$\text{天理高等学校 } 11 \begin{pmatrix} 6 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 清水国際高等学校}$$

<得点>

天理 : 4分 霧下、5分 竹林、7分 沖原、27分 泉田、34分 久保庭、35分 久保庭、51分 沖原
53分 森、55分 久保庭、61分 深見、66分 竹林

清水国際 :

<戦評>

清水国際高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。4分清水国際の反則によりPSを取り、天理高等学校#2霧下がシュートを決める。天理は立て続けに5分#3竹林、7分#7沖原がタッチシュートを決め3-0となる。勢いに乗る天理は#7沖原を起点に果敢に攻め込むが、清水国際#1GK鈴木の好セーブにより得点には至らない。その後も激しい攻防が続き、27分天理#13泉田が打ち込みからのタッチシュートで決める。得点が欲しい清水国際は#11小野田を起点に相手陣内に攻め込むが天理の堅い守備に阻まれる。前半終了間際、34分、35分に天理#14久保庭がシュートを決め6-0で前半戦を折り返した。
後半戦が開始。清水国際の#11小野田のドリブル突破で攻めるが得点には至らない。45分天理はPCを取得するが得点することができない。天理は51分#7沖原がタッチシュート、53分#8森がスイープシュート、55分#14久保庭がリバースシュートを決め9-0と点差を広げる。反撃したい清水国際は、58分にPCを取得するも得点することができない。勢いに乗る天理は61分、66分と立て続けにシュートを決める。清水国際は、粘り強い守備からカウンターで相手陣内に攻め込むが天理の堅い守備に阻まれ、このまま試合が終了。11-0で天理が勝利し準決勝へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	武部 直美	アンパイア	渡邊 道彦
ジャッジ	遠藤 博行・熊崎 里奈		田邊 伸雄

Bコート 男子 第4試合

$$\text{伊吹高等学校 } 1 \begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix} 2 \text{ 今市高等学校}$$

<得点>

伊吹 : 55分 清水
今市 : 18分 高橋、26分 高橋

<戦評>

伊吹高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから伊吹が右からの攻撃で攻め込むも得点には至らない。14分、15分と立て続けに伊吹がPCを取得するも今市高等学校#1GK永井の好セーブによって得点することができない。反撃したい今市は18分#9松本がドリブルで突破し、#10高橋がタッチシュートを決め先制点を挙げる。その後も攻め続ける今市は26分#10高橋がランニングヒットシュートを決め2-0と点差を広げる。伊吹は32分、33分とPCを取得するも得点することはできないまま前半戦を折り返した。
後半戦が開始された。伊吹は39分、40分にPCを取得するも得点には至らない。得点が欲しい伊吹は、58分#9清水が華麗なタッチシュートを決め2-1とする。今市はロングボールで攻めようとするも、伊吹の堅い守備によって得点することができない。追いつきたい伊吹は68分にPCを取得するも得点に結びつけることができず試合が終了。2-1で今市が勝利し準決勝へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	刈谷 和代	アンパイア	藤原 信幸
ジャッジ	篤木 勝・下島 多美子		石橋 徹也

明日の組み合わせ 〈Aコート〉

第1試合 女子 準決勝 9:30	岐阜各務野高等学校	0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	玄界高等学校
第2試合 女子 準決勝 11:20	今市高等学校	0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	石動高等学校
第3試合 男子 準決勝 13:10	沼宮内高等学校	0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	今市高等学校
第4試合 男子 準決勝 15:00	天理高等学校	0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	丹生高等学校